

カートリッジ内蔵型 浄水器専用水栓

JF-WA505-JG型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客様にお渡しください。

1. 施工の前に

安全上のご注意


- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明


警告 ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

















... 「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

 ... 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

 ... 「分解してはいけません!」

 ... 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

注意

	修理技術者以外の方は水栓を分解したり、修理したりしないでください。 ※ケガををしたり、故障・破損の恐れがあります。	
	水道水の飲用基準に適合した水をお使いください。 ※体調を損なう恐れがあります。	
	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
	お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結の恐れがある場所では使用しないでください。	
	各接続部は水漏れのないように確実に接続してください。	
	吐水口は手や布巾でさわらないでください。 ※残留塩素を除去しているため、雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なう恐れがあります。	
	水栓先端への他の器具の接続や、他の浄水器との併用はしないでください。	

- 分岐栓を使用の場合、浄水器の給水側には必ず専用の分岐水栓を取り付けてください。
- 浄水カートリッジの常用使用圧力は0.05MPa(流動圧)~0.35MPa(静水圧)です。
- 取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

本製品の仕様と使用条件

使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)	
使用環境温度	0~35℃ ; 但し、内部の水を凍結させないでください。	
給水給湯接続	G1/2	
圧力条件	0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧) 給水圧力≧給湯圧力	
取付条件	水栓取付穴：φ37±2mm	カウンター厚：6~30mm

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.34MPa)に減圧してください。

施工前のご注意

取付に必要な工具

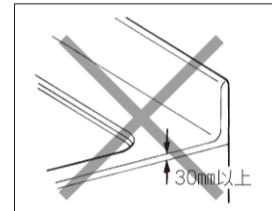
- 取付には専用工具 KG-14、モンキーレンチが必要です。

止水栓と点検口を設けてください。

- 取付後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓と点検口を設けてください。
- 使い勝手や性能発揮のために**流量調節をしてください。**特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

その他の注意点

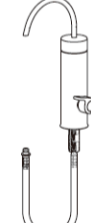

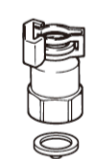
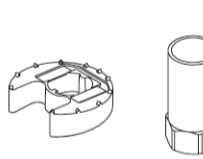
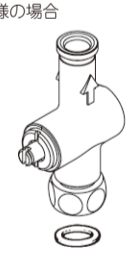
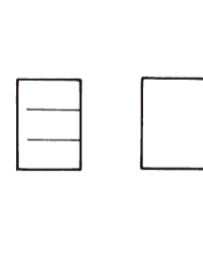
- 施工を始める前に、お買い求めいただいた箱の中身を下記部品梱包明細表で確認してください。
- 保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。
- 給水は、上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には、使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱・取付けの際には、商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず**配管中の異物を完全に洗い流してください。**
- 取付カウンター厚みが30mm以上の場合は取り付けできません。



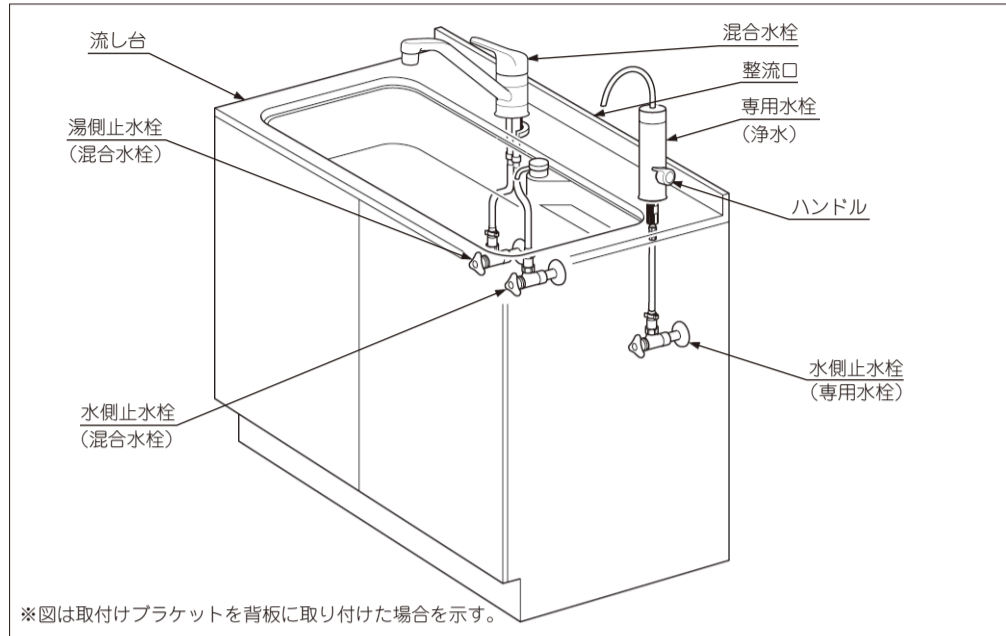
- 給水水温は35℃以下でご使用ください。
※35℃以上では浄水器の機能が十分発揮されません。
- カウンター裏面の補強板は珪酸カルシウム板以外の材料としてください。
※本体固定不良の原因となります。裏面の補強板は、木質系のボードとしてください。
※珪酸カルシウム板に対応するためには、A-3811(別売部品)が必要です。

部品梱包明細表

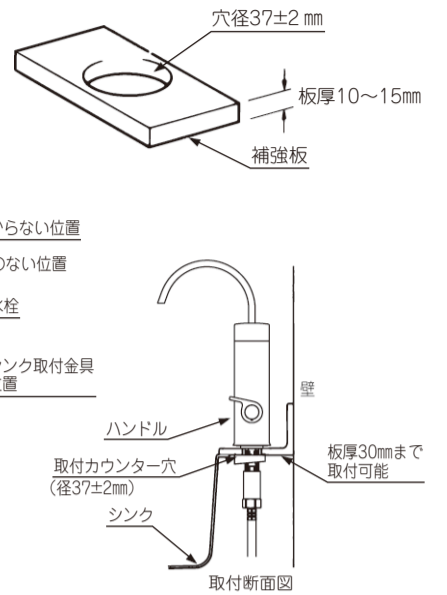
下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。

	専用水栓 1コ		浄水カートリッジ 1コ
	ソケット 1コ ストレーナー付 パッキン 1コ		接続金具 1コ 締付ナット 1コ
	寒冷地仕様の場合 水抜き逆止弁付 ソケット 1コ パッキン 1コ		取扱説明書 施工説明書 (本書)

施工完了図



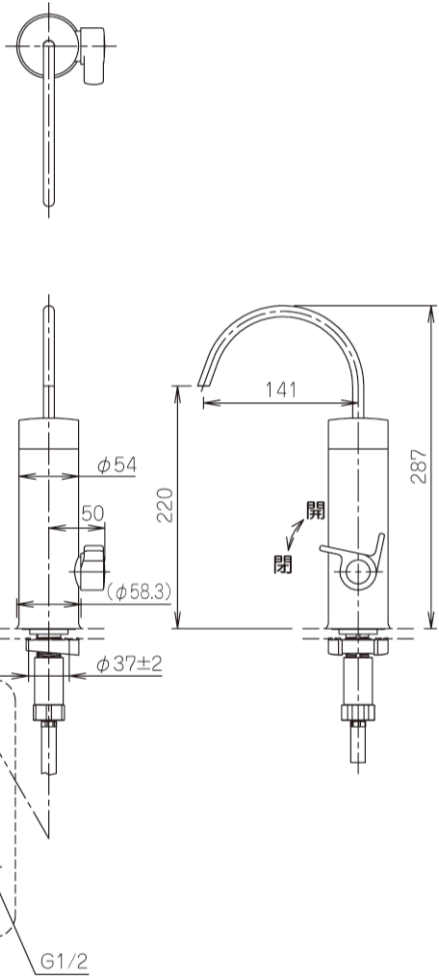
2. 下図を参照し、正しく取付位置を決めてください。なお、専用止水栓は、混合水栓の左側に取り付けることも可能です。取付位置確認後、取付カウンターに穴径 37 ± 2 mmの穴あけをします。



3. ステンレス製の取付カウンターで補強板がない場合は補強板を取り付けてください。

商品図

JF-WA505-JG(JW)



※カウンター穴あけ寸法は $\phi 37\pm 2$ で行ってください。
カウンター厚は6~30mm。

2. 施工方法

1 専用止水栓の取付け位置決め

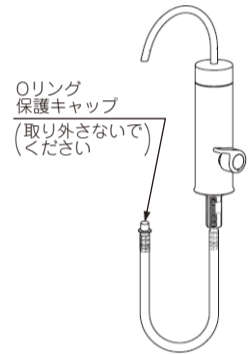
同梱の部品以外は使用しないでください。
各接続部は水漏れのないように確実に接続してください。

1. 専用止水栓の取付位置を決めます。

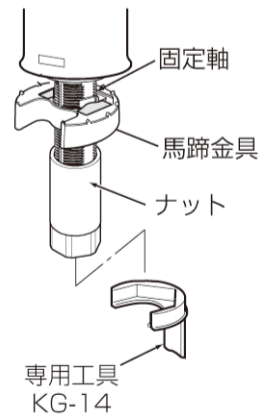
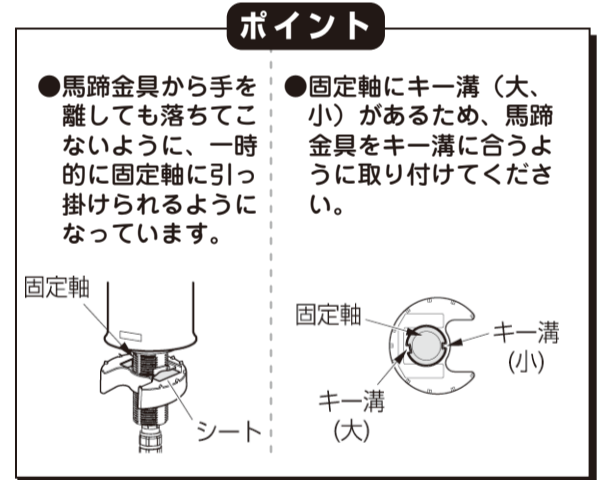
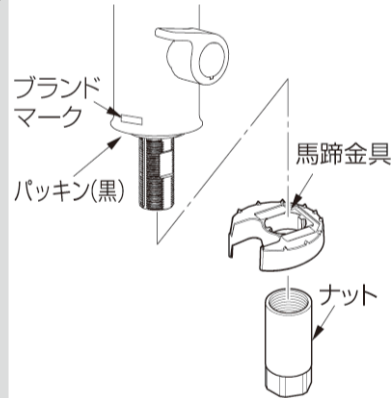
2 専用止水栓の取付け

1. 水栓本体をカウンター穴に挿入します。

- 注意**
- Oリング保護キャップはソケットと接続するまで取り外さないでください。
 - 接続部保護キャップはホースと接続するまで取り外さないでください。



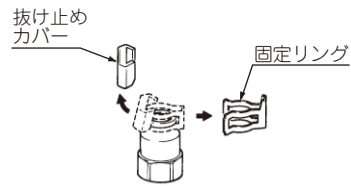
2. 馬蹄金具を固定軸に挿入してナットで締め付けます。



- 注意**
- 別売の専用工具 (KG-14) を使用してください。
※ナット締め不足によりガタつきやキャビネット内への漏水の原因となります。



3. ソケットから抜け止めカバー、固定リングの順に取り外します。



4. 止水栓にソケットを取り付けます。

注意

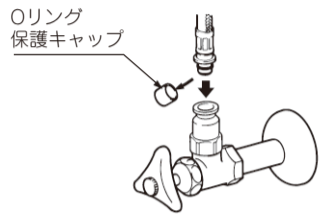
●ストレーナー付パッキンの向きに注意してください。
※正しく取り付けられていないとゴミが詰まりやすくなり、流量が少なくなることがあります。



5. フレキホースのOリング保護キャップを取り外し、ソケットに差し込みます。

注意

●Oリングにキズをつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。漏水の原因になります。
●フレキホースを曲げる場合は、曲げ半径を30mm以上確保してください。無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因となります。



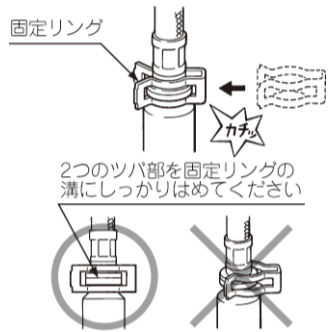
6. 固定リングをフレキホースとソケットの接続部(ツバ部)にはめ込みます。

注意

誤って取り付けると漏水の原因となりますので、確実にはめ込んでください。

確認

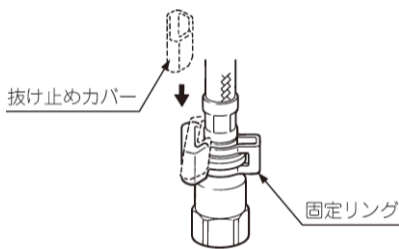
フレキホースを下に引き、確実に接続されていることを確認してください。



7. 抜け止めカバーを固定リングにはめ込みます。

注意

●固定リングが外れると、漏水の原因となりますので、必ず、しっかりとめ込んでください。
●直接固定リングに手を触れるとケガをする恐れがあります。抜け止めカバーを必ずはめたままにしてください。



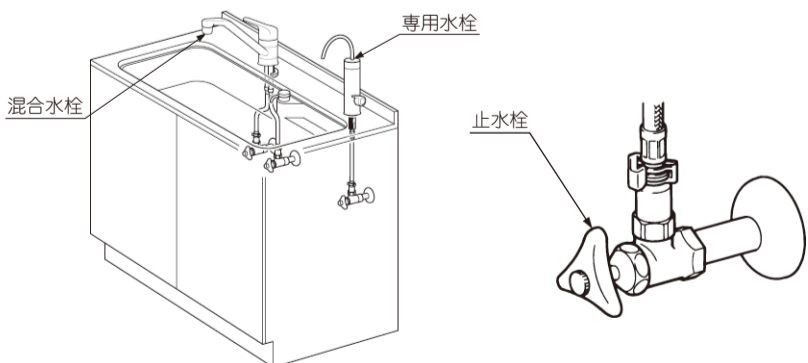
3. 施工後の調節

1 通水、水漏れ確認

以下の手順で通水作業をし、水漏れのないことを確認してください。

注意

- 混合水栓を先に開けて通水し、配管内のゴミなどを十分に出してください。
- 浄水カートリッジを装着して通水確認をしないでください。
- 配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。



1. 専用水栓のハンドルが止水の位置にあることを確認します。

2. 専用水栓のハンドルを開けて通水し、配管内のゴミなどを出したのち各接続部からの水漏れがないことを確認します。

2 流量調節 (標準の浄水吐水量調節)

【お客さまが施工後、すぐ使用しない場合】

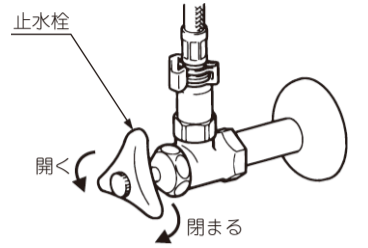
浄水カートリッジを取付けないで以下の項を実施してください。

【お客さまが施工後、すぐに使用する場合】

1. 通水、水漏れ確認を実施して、配管内のゴミなどを十分に出してください。
※工事直後の水を浄水器に流すと、目詰まりの原因になります。

2. 浄水カートリッジを取り付けます。

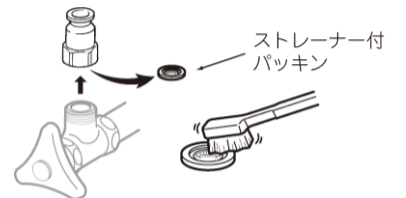
3. 浄水吐水量が適正流量となるように、止水栓を調節します。
※ハンドルをいっぱい開けたとき、4ℓ/分程度(500mlの容器を一杯にするのに8秒)流れるくらいに調節してください。



3 ストレーナー付パッキンの掃除

一般地用の場合

1. 止水栓を閉じる。(右にいっぱい回す)
2. ストレーナー付パッキンのゴミ等を歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とす。



3. ソケットを止水栓に固定する。

注意

●ストレーナー付パッキンの向きに注意してください。
※正しく取り付けられていないとゴミが詰まりやすくなり、流量が少なくなることがあります。



寒冷地用の場合

1. 止水栓を閉じる。(右にいっぱい回す)
2. ストレーナーを取り外し、ゴミ等を洗い流す。



4. 引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は右図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か?		「使用条件」の項参照。
	止水栓は十分開いているか?		水側止水栓を十分開く。
	ストレーナーに、ゴミ詰まりはないか?	①	ゴミ等を水で洗い流す。
流量が多い	止水栓は調節されているか?		「流量調節」の項参照。
水が止まらない	ゴミかみはないか?	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか?	②	キズがあれば部品を交換する。
接続部から漏水する	接続部にキズ、ゴミかみはないか?	③	キズがあれば部品を交換する。ゴミ等があれば水で洗い流す。
	ゆるみはないか?	④	吐水口部をしっかりと締める。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか?	⑤	ねじをしっかりと締める。

